

活動部門賞

花畑まちにわ ストリートガーデン

企業の専門性を生かしながら、幹線道路沿いの植樹帯を地域の人々が交流する「まちの庭」へ住民とともに育て続ける姿に、公共空間の新たな可能性を感じます。花や緑を媒介に、四季を感じながら人と人、人とまちの関係を丁寧につなぎ直していく、地域に根ざした活動として高く評価しました。



特別賞

大濠公園日本庭園

大濠公園開園50周年を記念し、昭和の小堀遠州といわれた中根金作氏が豪快な石組み、水の流れ、周囲との関係も読み取りながら公園と景観をつなげた築山林泉廻遊式の名園。新福岡県立美術館の建設でその姿を変える今、福岡を代表する昭和の名庭を再評価し、新しい時間を包括した庭園の姿を待ちたい。

第31回　福岡市都市景観賞概要

■選考委員：坂井 猛（九州大学本部キャンパス計画室 教授・副室長）、柴田 久（福岡大学工学部 社会デザイン工学科 教授）、西川 真水（西日本短期大学 緑地環境学科 教授）、鵜飼 哲矢（九州大学大学院 芸術工学研究院 環境設計部門 教授）、黒瀬 武史（九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授）、伊藤 敬生（九州産業大学 芸術学部 ソーシャルデザイン学科 教授）、張 彦芳（九州大学大学院 芸術工学研究院 ストラテジックデザイン部門 准教授）、古賀 桃子（特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表）、中村 善輝（福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん センター長）、村上 洋子（福岡市住宅都市みどり局 理事）

■主催 福岡市（住宅都市みどり局 地域まちづくり推進部 都市景観室）

■後援 （一社）九州住宅産業協会、（一社）建設コンサルタンツ協会 九州支部、（独）住宅金融支援機構 九州支店、（公社）全日本不動産協会 福岡県本部、（独）都市再生機構 九州支社、福岡県美しいまちづくり協議会、福岡県建設業協同組合、（一社）福岡県建築士事務所協会、福岡県住宅供給公社、（公社）福岡県造園協会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会、福岡広告協会、福岡市広告美術業協同組合、福岡市住宅供給公社、福岡市造園・緑化協議会、（一社）福岡市土木建設協力会、（公財）福岡市緑のまちづくり協会、福岡設計協同組合、（公社）日本建築家協会 九州支部、（一社）日本建築学会 九州支部、（公社）日本造園学会 九州支部、（公社）日本都市計画学会 九州支部、風景デザイン研究会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会 九州支部

受賞作品 展示会開催

11.28（土）–12.10（木）
福岡アジア美術館 7F アートカフェ
福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル
利用時間：9:30 ～ 19:30（金曜・土曜は 20:00 まで）
※12/4（金）のみ 15 時以降は休展

12.17（木）–12.22（火）
福岡市役所 1F ロビー
福岡市中央区天神 1 丁目 8-1 1F 9:00～20:00
※12/20（日）は休展日 ※最終日は 17 時まで

今までの受賞作品などをご確認いただけます。
福岡市都市景観賞 公式サイト
https://fukuoka-scenery.jp/

受賞作品やイベントなどの情報を掲載しております。
福岡市都市景観賞 公式インスタグラム
https://www.instagram.com/fukuokashi_toshikeikansyou/

お問い合わせはこちら
福岡市 FUKUOKA CITY
福岡市住宅都市みどり局
地域まちづくり推進部 都市景観室
〒810-8620 福岡県福岡市中央区天神 1-8-1
TEL 092-711-4395　FAX 092-733-5590

FUKUOKA FLOWER SHOW 2027



福岡市 第31回 都市景観賞

FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD

受賞作品紹介

- 大賞
- 市民賞
- ランドスケープ部門賞
- 建築部門賞
- 広告文化部門賞
- 活動部門賞
- 特別賞

第 31 回　福岡市都市景観賞

選考総評

福岡市都市景観賞は、まちの魅力を創りだしている建物や通り、企画や活動に関係している人たちの努力を讃え、広く市民に伝えることを目的として創設された賞であり、市民の推薦・応募に基づき選考しています。
「ONE FUKUOKA BLDG.」（大賞）は、都心部の回遊動線を繋ぐ快適な歩行空間と溜まり場を立体的に内包する建築空間として最も高く評価しました。「ABURAYAMA FUKUOKA」（ランドスケープ部門賞）は、博多湾まで一望できる場の力を背景に、緑地の自然と地形に馴染む憩いの空間を実現しています。「グラムビル御供所町」（建築部門賞）は、博多旧市街のまちなみに育まれた歴史、文化、町屋のスケールを引き継ぎつつ、現代の都市景観のあり方を示しています。「大名の大狛犬」（広告文化部門賞）は、一般に開放された都心部の広場に博多人形師の作品を据え、地域住民や観光客に親しまれるローカルとグローバルを繋ぐ象徴として位置づけられています。「花畑まちにわストリートガーデン」（活動部門賞）は、幹線道路沿いをまちの庭として、地域住民と企業が花と緑を育てる活動に積極的に取り組んでいます。さらに、「大濠公園日本庭園」（特別賞）は、中世の策定技法を用いて昭和後期に実現した深山幽谷の景であり、福岡を代表する景観のひとつです。
選考委員会では、それぞれの専門性を尊重しつつ、多角的かつ公正な審査を行うことができたと思います。評価の高いランドスケープ、建築、広告文化、活動を、多くの市民に知っていただくことで、市民の活動の舞台としての都市景観づくりの一助となり、空間の質がさらに向上することを願う次第です。

福岡市都市景観賞選考委員会
委員長　坂井 猛（九州大学教授）

大賞

ONE FUKUOKA BLDG.



福岡ビル、天神コア、天神ビブレの跡地を一体開発し、天神交差点の新たな顔となった複合ビルである。地上と地下に設けられた豊かな通路空間は、渡辺通り・明治通り・因幡町通りをつなぎ、地下鉄駅や地下街へと途切れなく続いている。建築そのものを街の回遊動線の一部として開き、多くの市民が行き交い、憩う風景を生み出した点を高く評価したい。沿道ビルと連携した因幡町通りの歩行者空間化など、敷地を越えたまちづくりの姿勢も特筆される。街区南西角の「ピクセル・ツリー」は開業前から話題を呼び、広告文化部門の観点からも評価を得た。今後も屋内外の公共的空間を積極的に活用し、新たな天神のあり方を創造し続けることを期待したい。





市民賞

福岡市民ホール

柔らかな曲線を描くガラスのファサードと、大きな庇が印象的である。建物内外の視線をつなぐ透明性や、緩やかなスロープによる立体的な動線、須崎公園の緑と連続する開放的な空間構成が魅力的である。文化芸術の拠点であると同時に、集い、憩える都市の新たな景観として、多くの市民の支持を集めた。



ランドスケープ部門賞

ABURAYAMA FUKUOKA（油山牧場・市民の森）

豊かな自然とアウトドアを楽しめる憩いの場であるとともに、洗練されたロゴや自然に溶け込む統一感のあるデザインで各施設が整えられている。福岡の都市景観を一望でき、本市が油山の「緑」と博多湾の「海」に囲まれ、コンパクトなまちであることを実感させてくれる、優れた視点場としても評価される。



建築部門賞

グラムビル御供所町

太閤割の細長い敷地に、低層棟と高層棟を坪庭を介して配置し、周辺の街並みとの調和を巧みに実現している。石畳の連続性や町屋の空間構成を継承しながら、現代美術ギャラリーや茶文化を取り込むことで、博多旧市街の歴史と文化を現代に受け継ぎ、新たな都市景観のあり方を示した点が高く評価された。



広告文化部門賞

大名の大狛犬

長く広く市民と共に景観をつくっていく”持続性”という観点。都市の無機質な景観の中に有機的な存在が現れたことで、市民が集い繋がる”生体系のような環境”が生まれるという新たな気付きがありました。都市の谷間に鎮座する守り神。これからも悠久なる時間を、市民と共に刻み続けてほしいものです。